

定一部金貳錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 價一少月廿錢 告一語一行 刊一紙日 發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
 郵稅五厘 料五十錢 日祝日ノ翌 發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番

常新新聞

日刊 發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
 印刷所 常磐毎日印刷所

刊夕日四廿月二

金解禁と不景氣

前代議士 木村清治

(十)

然らば左様なことを敢てして公債の發行額を減少するのは何の爲めかと言へば、大銀行、大資本家多額の既發公債の所有者の希望を満たし、その時價を維持せんとするに外ならないのである。言ひ換へれば全国各地の福利増進を犠牲にして大都會に之を集中し、且つ少數富豪の利益の爲めに多數國民の利益を無視するの方策であつて、また金權政

治の正體を暴露したものである。


五、減俸問題

濱口内閣は昨年十月十五日の閣議において、官吏俸給の減額を決定すると同時に濱口首相の名をもつて「政府自から實踐躬行、範を國民に示し、以て經濟難局の打開に資する所あらんとす」と、堂々たる聲明書を發表した、而して世論の包圍攻撃に逢ふや周竟狼狽、手の裏返すがごとく減俸案を撤回した。國政變理の大任に膺るものとしては、非常なる不見識であり、大失態である。


斯くて官吏俸給減額案は撤

回されたが、官吏俸給の減額を企てた事實と、それによつて暴露された減内閣の正體とは、今さら糊塗することも、取消することもできないのである。

現内閣の正體とは他でもない、第一、資本主義の權化である、金持階級の御機嫌取に急いだといふことである、この内閣が官吏俸給の減額を企てたのは、誠に似合はしいことであり、當然のことである。



正確な体温計 関内藥局
 喫茶部新設



眼鏡 蓄音器
 トキハヤ 平町二丁目

是非…… 御用は 漆器の 和久井屋
 言町目 和久井屋 雷〇五番
 和久井屋へ

◆當店特製の生地裁縫共中分品です

小學生用 8圓50銭
 中學生用 11圓00銭

學生外套特賣

なかや洋服店 平二 電二〇三

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
 外科一般、婦人科 市原陸郎
 外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舖
 平町二丁目(電三)

磐城セメント會社特約店

久全屋漆器店

磐城平町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣、勝る商畧なし△
 ▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

御進物には ヤマフルの商品券が一番

醬油味噌 たひら正宗 鯉節 食料品

合山崎合名會社

鹽屋 福島縣平町 電話(營業部) 一〇番 (醸造工場) 二七番

町平町常磐眼科醫院

木村清治

當選御禮



耳鼻咽喉科専門 場所(舊診療所裏通り)

合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

四候補得票一覽表

Table of election results for the 4 candidates across various districts including 石城郡, 平町, 内郷, etc.

Table of election results for the 4 candidates across various districts including 福田, 大野, 中野, etc.

君國の爲め 精進を契ふ

木村氏語る 最後の開票川内村の結果が判る迄は一喜一憂を續けて居た木村派事務所に...

興業の純益を 人事相談所へ

平署内人事相談所では最近資金が乏しく仕事に差支へたので之を見兼ねた平館主...

指環 時計 常盤屋

平電三三九

第三區當選者

比佐昌平(民政) 著述業△早大卒△當選三回△四十七歳 九一三六 氏家清(民政) 農業△移川水力電氣會社社長△元縣議△六十歳...

眼を廻した 交換嬢

平町郵便局内電話交換所で は市外七台市内十台の交換 台を備へ交換手四十人が晝夜二十人づゝ交代で仕事に...

濱三郡の木炭組合が 湯本町に倉庫を建設

濱三郡木炭同業組合では既報の如く去る廿二、廿三日の両日午前十時より同組合事務所に於て代議員會を開催し昭和五年度豫算及外数件を附議したが本年度豫算は二萬二千三十一圓の見込で...

高壓線で 大火傷

石城郡小名濱町字定西三三三二本松電氣株式會社小名濱出張所電工齊藤六郎(三)は去る廿日午前十一時頃石城郡玉川村字住吉地内同會社電柱に登りオイルスイッチを取外作業中誤つて高壓線に觸れ感電大火傷を負つたが生命は取止めた

明日の天気 北西の風 晴れたり曇つたり